昭和大学病院

クオリティインディケーター（QI）成果報告
〔臨床病理診断科〕

指標名

消化管の生検の病理診断に要する日数

目標・ゴール

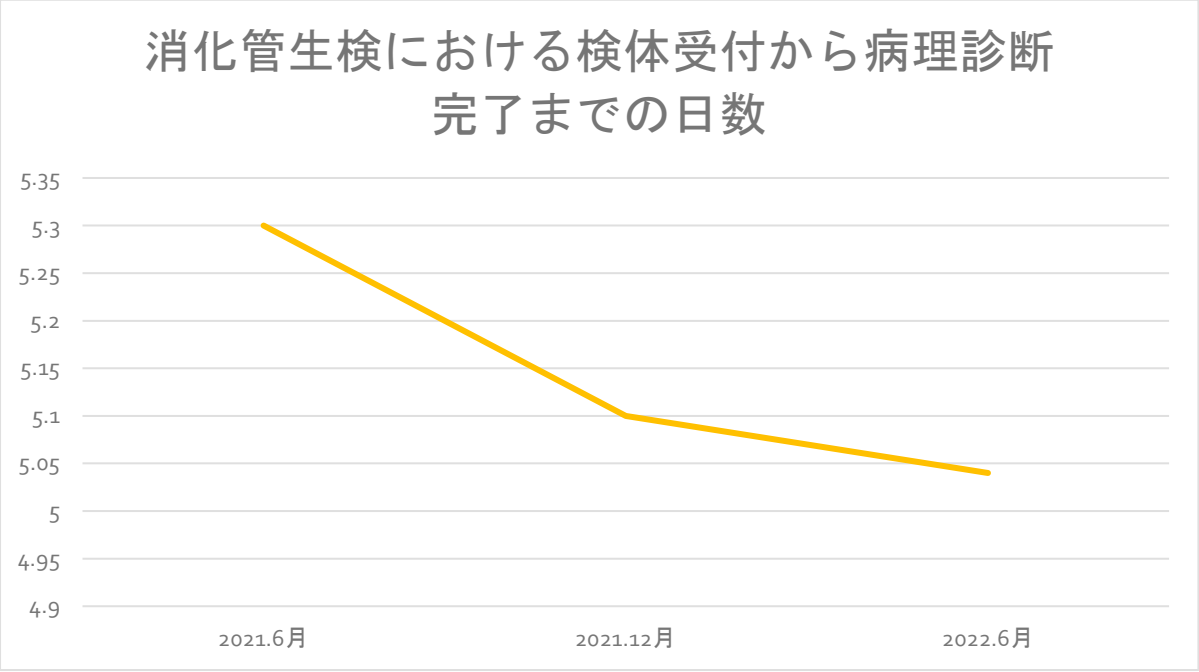
消化管生検の病理診断に要する日数の短縮化

目標・ゴール達成による効果

①迅速な病理診断報告による消化管疾患診療の効率化

②消化管疾患の入院日数の短縮化

目標・ゴールに対する成果の状況



半年ごとのデータでは、日数の若干の短縮化が認められる。

目標・ゴール達成度

□S　：大幅に目標を上回って達成
□A^{+}：目標を多少上回って達成
☑A：目標を達成
□B^{+}：目標を少し下回った
□B　：目標を下回った
□C　：目標を大幅に下回った
□ー　：外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの成果と課題・改善策

消化管生検における標本作製の院内化を今後も進めていく予定であり、さらなる事務処理の効率化や標本検品の効率化とともに迅速で精確な病理診断報告を目指す。